

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-166617

(P2005-166617A)

(43) 公開日 平成17年6月23日(2005.6.23)

(51) Int. Cl.⁷

H05B 37/02
F21V 23/04
// F21S 4/00
F21S 8/06
H05B 41/392

F I

H05B 37/02 E
F21V 23/04 Z
F21S 3/04
H05B 41/392 Z
F21Y 103:02

テーマコード(参考)

3K014
3K073
3K098

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2003-436106(P2003-436106)

(22) 出願日 平成15年11月28日(2003.11.28)

(71) 出願人 000005474

日立ライティング株式会社
東京都千代田区神田須田町二丁目5番地2

(72) 発明者 菅谷 義則

茨城県龍ヶ崎市若柴町69番地 日立ライ
ティング株式会社龍ヶ崎事業所内

Fターム(参考) 3K014 AA03 GA03

3K073 AA13 AA16 AA42 AA53 AA57
AA73 CC02 CE06 CE17 CF01
CG01 CJ16 CM04
3K098 BB13 CC40 CC65 DD05 FF09
FF13

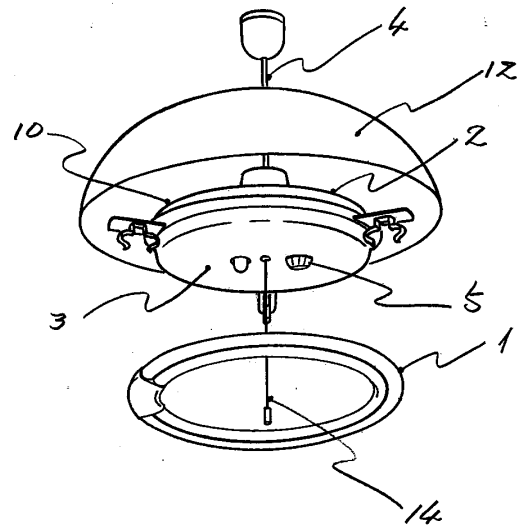
(54) 【発明の名称】 人検知センサー付照明装置

(57) 【要約】

【課題】 人検知センサー5を用いて消費電力の省エネルギー化を図ると共に使い勝手のよい製品を提供する。

【解決手段】 調光点灯が可能な照明器具に人検知センサー5を搭載する。動作は、消灯状態からスイッチ14を引くと調光点灯するように設定し、人を検知した時に全光点灯するように回路制御する。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光出力を大小二様に变化させることのできる照明灯を備え、監視エリアで形成される赤外線（ただし人体から発する熱線レベルの赤外線）を計測する赤外線検知器を備え、前記赤外線検知器に応動する制御器を備え、前記制御器で前記赤外線が検知されかつ該赤外線の変化が微小である状態が所定時間を越えて継続したときに前記照明灯を光出力の小さな調光状態に切り替える無変化有赤外線監視手段を設けたことを特徴とする人検知センサー付照明装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

10

【0001】

本発明は、一般住宅の主照明、特に居室における照明器具に人検知センサーを搭載し、その点灯時の調光制御に関する。

【背景技術】

【0002】

従来の人検知センサー付照明器具は、点滅動作を制御している製品が多く、これらの製品は、玄関、屋側等の単機能製品に用いられている。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

20

上記従来技術の通り、これまで居室用照明器具として人検知センサーを応用した製品がなかった。本発明の課題は、人検知センサーを用いて消費電力の省エネルギー化を図ると共に使い勝手のよい製品にすることである。

【課題を解決するための手段】

【0004】

上記課題を解決するため、調光点灯が可能な照明器具に人検知センサーを搭載する。動作は、消灯状態からスイッチを引くと調光点灯するように設定し、人を検知した時に全光点灯するように回路制御する。

【発明の効果】

【0005】

30

本構造によれば、人が室内にいないときは、調光状態で点灯するので全光点灯時と比較して電力消費が抑えられる。また、使い勝手においては、スイッチ引き紐を引くことなく全光、調光点灯の切り替えができるので利便性の向上が図れる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0006】

図1を用いて、本発明の実施形態について説明する。本人検知センサー付照明装置は光出力を大小二様に变化させることのできる照明灯1を備える。監視エリアで形成される赤外線（ただし人体から発する熱線レベルの赤外線）を計測する赤外線検知器5を備える。前記赤外線検知器5に応動する制御器を備える。前記制御器で前記赤外線が検知されかつ該赤外線の変化が微小である状態が所定時間を越えて継続したときに前記照明灯1を光出力の小さな調光状態に切り替える無変化有赤外線監視手段を設ける。

40

【0007】

説明を補足する。灯装置類（前記制御器を含む）を内蔵したバックボーン2と反射板3により器具本体10を構成し、これらを天井面から吊下げるコード吊具4と前記本体を被うセード12により構成している。人検知センサー5は前記反射板3の平面部に下方を検知するよう検知部を露出して配置する。

【0008】

本装置の特長は、消灯状態からスイッチ引き紐14を引くと調光状態で点灯することである。さらに前記調光状態では、人検知センサー5が待機状態となり、人を検知すると全光点灯するようにした。人検知センサーは下方に人がいる時は、継続点灯し、人がいなく

50

なったのち任意の時間がたつと消灯するよう制御した。

【図面の簡単な説明】

【0009】

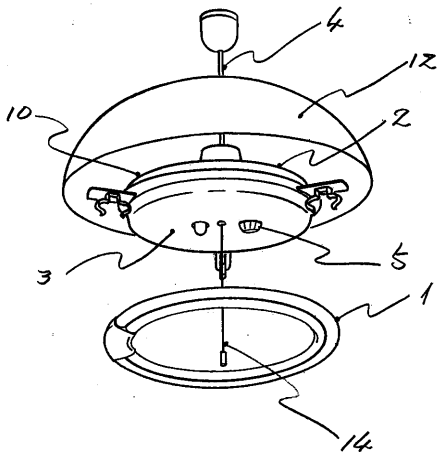
【図1】本発明装置の主要部外観図（斜視図）である。

【符号の説明】

【0010】

1：環状蛍光灯 2：バックボーン 3：反射板 4：コード吊具
5：人検知センサー 10：器具本体 12：セード 14：スイッチ引き紐

【図1】



フロントページの続き

(51) Int.Cl.⁷

F 2 1 Y 103:02

F I

テーマコード(参考)